

政策	54 文化の振興						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	文化芸術に触れる機会の確保や文化施設の活用等により文化に親しむ環境を整える。 文化活動団体の支援や文化の伝承者の育成により地域の特色ある歴史文化の継承・発展を図る 本市に縁のある文化人を顕彰するとともに、文化財をはじめとする歴史的文化遺産の保護や地域資源としての活用を図る。						
成果指標	文化芸術活動等の参加者満足度...2022年度で80%（現状値70.4%） 資料館等の利用者満足度...2022年度で70%（現状値65.0%）						
目標達成状況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標1 [ % ]	予定	72.00	74.00	76.00	78.00	80.00
		実績	74.50	71.20	95.50		
	成果指標2 [ % ]	予定	69.00	69.00	69.50	69.50	70.00
		実績	64.50	58.50	68.40		
	成果指標3 [ ]	予定					
		実績					
	成果指標4 [ ]	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	977,102	2,259,525	1,587,373	0	0	
	実績	636,362	2,219,018	1,587,373	0	0	
内部評価	貢献度	基本施策を推進するためには、文化芸術に親しむ環境づくりや、歴史文化の継承、文化活動団体への支援等が必要であり、目標達成への貢献度は高い。					
	達成状況	令和2年度は、コロナ禍により美術館・歌麿館でのアンケート調査は実施しておらず、実績値は文化会館でのアンケート調査の参加者満足度であり、高い評価を受けている。					
	課題	文化施設の老朽化により、維持管理費が増加傾向であること。また、効果的な文化財の保存・活用を図ることが必要である。					
	取組方針	老朽化した文化施設の効率的な維持管理を検討するとともに、市民が文化芸術に親しみやすい環境づくりに取り組む。					
外部評価	コロナ禍による影響を分析し、来年度開館予定の美術館・文学館の運営に活かして欲しい。 また、様々な年齢層の市民が興味を持ち、足を運びたいような展示やイベントの開催・運営を心掛けてもらいたい。						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	5402	歴史文化等の保護と活用				195,795	84
	5401	文化芸術活動の推進				1,391,578	69

## 基本施策評価表 補表

施策	54 文化の振興		
区分	妥当性	妥当	文化芸術活動の推進及び歴史文化等の保護と活用は、文化の振興を図るためにとても重要であり、各種事業は妥当である。
	コスト削減の余地	有	文化施設の統廃合等により、コスト削減を図る余地がある。
	受益者負担	適正	妥当な受益者負担を求めており、適正である。
	上位貢献度	有効	基本方針を進めるうえで、大いに貢献している。
	類似事業の有無	無	他に類似する事業はない。
	成果向上の余地	有	文化会館や美術館等の企画内容の充実について、検討する余地がある。
内部評価	貢献度	上位計画の基本方針である「健やかに人を育み学び続けるまちづくり」に対し、本基本施策は大いに貢献している。	
	達成状況	令和2年度は、コロナ禍により美術館・歌麿館でのアンケート調査は実施しておらず、実績値は文化会館でのアンケート調査の参加者満足度であり、高い評価を受けている。 また、資料館については、目標値には達しなかったものの、前年度より10ポイントほど満足度が向上している。	
	課題	市内に類似する文化施設が複数存在しており、それらの建物は建築後相当年数経過し、老朽化が著しく維持管理費が膨大となっている等が課題となっている。	
	取組方針	市民、文化団体、関係各課等と協議・情報交換等しながら、効率的な施設の維持管理を行うとともに、市民が文化芸術に親しみやすい環境づくりに取り組む。	